

山梨県

小淵沢町の原始古代遺跡

一分布調査報告書一



1979.3

小淵沢町教育委員会
山梨考古学研究会

序 文

小淵沢町は、原始時代の故郷とも言われる広大なハケ岳山麓に位置しています。

このたび当町では、山梨考古学研究会の協力を得て、町内の遺跡分布の調査を行いその報告書をここに発刊いたしました。

この調査は、町内に点在する文化財の保護、保存を総合的かつ積極的に推進させるという観点から行われ、また町誌編纂事業の一環として進められたものであります。

今回の遺跡分布調査では、67ヶ所の遺跡の所在が確認されました。

郷土の歴史を知るということは、原始時代の遺跡の所在を調査し、その過程で、何時の時代から小淵沢町に人々が住み始めたかを確認することが、原点ではないかと思います。今回の調査でそれを知ることができました。

これらの遺跡は大部分が地中に埋没している為、埋蔵文化財と呼ばれ、学術的な発掘調査することで原始古代の人々の生活状況を知ることができます、むやみに掘ったり、開発することはできません。

多くの人々が、この報告書を原始時代の研究、学習などに利用していただくとともに、開発から遺跡を守るためにも活用していただければ幸いです。

最後にこの調査を行うにあたって、力を惜しまず積極的に調査を進めていただいた皆様方に厚く感謝申し上げます。

昭和54年3月

小淵沢町長 坂 本 文 雄

例 言

1. 本調査は町の委託を受けて山梨県考古学研究会が実施したものである。
2. 本報告書は末木健が執筆、編集し、調査及び整理は末木、伊藤恒彦、米田明訓、長沢宏昌、保坂康夫、井川達雄が行った。
3. 図版の遺物に付されたNo.は遺跡No.と同一である。
4. 図版は表面採取品、及び未発表資料を主として載せたが、石器等については特殊なもの以外は割愛した。
5. 遺物は町教育委員会に保管してある。



第1図 遺跡分布図

1. はじめに

本町は長野県と接する八ヶ岳西南麓の上に當まれた町である。八ヶ岳は縄文時代の故郷とも言われ、特に長野県側では全国的に有名な遺跡が多い。本県側の南麓ではあまり調査が進んでいないために、遺跡の過疎地と思われている場合もあった。しかし今回、昭和53年11月から昭和54年5月までの間、小瀬沢町の委託を受け、町誌編纂事業の一環として遺跡分布調査を実施したところ、67ヶ所の埋蔵文化財包蔵地を発見することができた。これは標高1000m以下の畠地を中心に踏査したものであり、山林や、更に高地部の遺跡を想定すると100ヶ所以上の箇所数になるものと思われる。

2. 遺跡の概要

今回の調査では今から1万年以上前の先土器（旧石器）時代をはじめ、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の各時代を主眼に踏査した。それぞれの遺跡の内容、および各遺跡の時代について第1表、2表に記してあるので詳細は表を参照していただきたい。

先土器時代の遺物は表面採取品で不確実ではあるが杉の木平遺跡より縦長刺片、夏秋遺跡よりマイクロコア（細石核）があり今後注意したい場所である。縄文時代の始めには下篠尾源氏籠遺跡南端より貝岩製尖頭器がある。早期及び前期前半の遺跡は少なく発見されていないが、近隣町村で遺跡の存在することからも可能性はある。前期後半の諸磯式、十三苦提式の土器は各地で発見され、この時期から急激な人口増加が始まった。中期全般にわたり数多くの遺跡があり、60ヶ所を確認した。特に中期後半の曾利式期は最も多い様である。ところが後期になると急激に遺跡数は減少し、加曾利B式期を最後にはほとんど遺物は見られない。

縄文時代晚期終末から弥生時代中期初頭の遺跡が当初予想していた以上に発見され、八ヶ岳山麓の弥生文化の始まる様子が解明される糸口を知ることができた。この後の弥生時代後期の資料はほとんど採集することができなかつたが、過去の資料等から推察すると、後期の遺跡は存在すると考えてよかろう。

続く古墳時代、奈良時代は表面採取では確定的な資料を得ることが出来なかつたが、上平出遺跡での中央道通過地点から9世紀代の住居跡や遺物も発見されていることから、今後の発掘調査で検出される可能性は高いであろう。

平安時代の聚落が存在したことは上平出遺跡や中原遺跡で確認されているが、分布調査で26ヶ所の存在が追加された。この時代は急激に遺跡が増加したと思われ、灰釉陶器の量も多いことから文化的には他地域と比べ遜色のない内容をもっている。恐らく、この時代の人々が現町居住者の直接の祖先と考えられる。

編	遺跡名	所 在 地	地 目	地形、標高	遺 物	備 考
1	上前後沢	岩久保上前後沢	畑、桑	尾根 940	縄文中 (新道、曾利)、平安	
2	下前後沢	岩久保下前後沢	畑、桑、山林	# 860	縄文中 (五箇ヶ台)、平安	
3	岩 津	津 岩久保、岩置、岩置前	畑、桑、宅地	# 850	縄文前 (諸磯B、十三番提) 中 (五箇ヶ台、桑内、曾利)	(②)信濃14の3 S37. 此後 (孟)人阪市立博物館、 町教育委員会①井戸深削 S38. S47.
4	上 宵 原	岩久保、下原、上久保、上官原	畑、桑、山林	# 820	縄文中 (五箇ヶ台、曾利)	(③)下原遺跡 S38. S47.
5	竹 原	上久保竹原、宗高、上官原	桑	# 870	縄文中 (井戸尻、曾利) 平安	(④)宗高B遺跡 S47.
6	宗 高	上久保宗高	畑、桑、山林	# 890	縄文中 (曾利) 後 (堀の内)	(⑤)宗高A遺跡 S47.
7	中 原	上久保中原	畑、牧草、桑	# 920	縄文中 (五箇ヶ台、新道、桑内、 井戸尻、曾利) 後 (堀の内)	(⑥)山梨県中央道発掘調査報告 書 S49. (⑦)山梨県教育委員 会、井戸尻古跡
8	上 井 諸	上久保上井諸	山林、畑	# 940	縄文前 (諸磯C) 中 (井戸尻、曾 利) 後明	(⑧)諸磯先E S38.
9	洲 平	尾根郡平	宅地、畑	# 850	縄文中 (井戸尻、曾利)	S38.
10	天 神 宮	上久保、天神宮	宅地、畑	# 840	縄文中 (五箇ヶ台、新道、桑内、 井戸尻、曾利) 後 (堀の内)	(⑨)小林御三 (八ヶ岳山莊) (⑩)東富 S47.
11	下 久 保	下久保石上り	畑	# 820	平安	
12	加 室	下久保加室	畑、桑	# 810	縄文前 (十三番提) 中 (五箇ヶ台、 井戸尻)	
13	高 野	高野尚久保	桑、宅地	# 820	縄文前、中 (井戸尻、曾利) 後	S38.
14	殿 平	高野殿平	宅地、畑	# 850	縄文中 (井戸尻、曾利)	S38. S47.
15	前 窪	高野前窪	畑、桑	# 790	縄文前 (諸磯C) 中、平公	
16	上 八 里 田	高久保上八里田 (宮久保)	畑、桑	# 820	縄文前 (諸磯) 中 (桑内、曾利)	

No.	遺跡名	所在地	地目	地形、標高	遺物	備考
17	西屋敷	宮久保阿屋敷、家の前	宅地、桑	尾根 830	縄文中、平安	
18	深沢	宮久保下深沢、上深沢	川林	n	820 縄文前(諸磧A) 中期(曾利)	
19	上深沢 A	宮久保上深沢	宅地	n	830 縄文中(曾利)	④町教育委員会
20	上深沢 B	上深沢	墓地	n	850 一字一石經70コ	④名取休
21	原東沢	n 原東沢	宅地、畑	n	870 縄文中、陶(後半)	④人正堂
22	小瀬川中学校電	n 古番屋	学校	n	910 縄文中、弥生(中)	④小瀬川中学校
23	上平井出	宮久保上平井出	道路、宅地、畑	n	910 縄文中(五箇ヶ台、桑内、井戸底、 曾利) 後(森名字、堀の内、加曾 利B) 平安	④下平井出 ④山梨県中央伝報書 S49. ④町教育委員会
24	下平井出	宮久保下平井山	道端、桑	n	900 縄文中(曾利)	
25	茅屋久保	上巻尾、茶屋久保	桑、宅地	n	870 縄文前(十三善提) 弥生中	
26	夏秋	上巻尾、夏秋	桑、畑	n	850 縄文前(諸磧C) 中(五箇ヶ台、 曾利) 弥生中(先土器)	
27	中深沢	上巻尾、中深沢	桑、畑、山林	n	800 縄文中	
28	加倉	B 下巻尾加倉	畑	n	800 縄文前(十三善提) 中(五箇ヶ台)	S47
29	加倉 A	下巻尾加倉	畑、山林	n	790 縄文中	S47. ④天狗岩
30	田頭	下巻尾田頭、天狗岩	畑、桑	n	790 縄文前(諸磧C) 中(井戸底、竹 利) 弥生中	
31	耕地久保	下巻尾耕地久保	桑	台地	770 縄文中	
32	笛尾塙跡	下巻尾塙地久保	桑、山林	尾根 750	縄文前(諸磧) 中世	④笛尾塙跡(町教委)
33	笛	車上巻尾雪車、下巻尾雪車の前	畑、宅地	n	790 縄文中(曾利) 弥生中	
34	源氏	上巻尾源氏縄	畑、水田	n	800 縄文早、前(諸磧A、B) 中(五箇 ヶ台、新道、畠内、井戸底、曾利) 後(堀の内) 晩(水) 弥生中	④今井氏衛

編	遺跡名	所 在 地	地 日	地形、標高	遺 物	備 考
35	長 尾 桁	上巻尾長尾根	畑、水田	尾根 820	縄文前(諸磯C) 中(五箇ヶ台、會利) 始生中、平安	
36	池 の 前	上巻尾流の前	水田、畑	斜面 870	縄文前(諸磯B) 中(井戸尾、會利) 後(堀の内)	S 38.
37	中 林	上巻尾中林2166	宅地、桑、畑	尾根 820	縄文中、平安	
38	街 駅	上巻尾御崎	畑、桑	洼地 790	縄文中、平安	
39	系 尾(ネゾー)	上巻尾系尾	宅地、畑、桑	尾根 790	縄文前(諸磯B) 後(五箇ヶ台、堀内、會利) 始生中、平安	㉙背木春重 ㉚根造 S 47.
40	寺 田	上巻尾寺田	宅地、桑	" 795	縄文中、平安	
41	江 戸 山	下巻尾江戸山	桑	" 780	縄文前(十三世堤) 中(會利)	
42	西 瓢込 南	上巻尾西瓢込	桑	" 800	始生中	
43	西 瓢込 北	上巻尾西瓢込、高原	桑、畑	" 810	縄文前(諸磯B) 中(五箇ヶ台、會利)	㉛高原 S 38. S 47.
44	上 脊 埼	上巻尾上脣場	桑、牧草	丘陵 840	始生中	
45	穴 之 洗	上巻尾穴之洗	桑、牧草	尾根 840	縄文中(五箇ヶ台)	
46	西 三 瓢 主	上巻尾西三瓢主	桑、畑	" 840	縄文前(諸磯C) 中(五箇ヶ台)	平安
47	柳 沢 北	松町柳沢	桑、山林	斜面 820	縄文中(五箇ヶ台)	
48	宝 ケ 森	松町宝ケ森	桑、畑	" 800	縄文中、古墳時代	
49	本 村	松町本村	桑、宅地	" 780	平安	
50	前 田 北	下巻尾前田北	桑、宅地、水田	" 770	縄文前(諸磯B) 中(會利)	平公
51	深 町	松町深町	桑、畑	" 770	縄文中(五箇ヶ台、會利)	平安

編	遺跡名	所在地	地目	地形、標高	遺物	備考
52	崩出南	下室尾前田南	水田、畑、桑、 畑、宅地	丘陵 750	縄文中(會利)後(櫛の内)平安	
53	崩屋敷	下室尾藏屋敷	桑、山林	斜面 740	縄文中、平安	
54	向原	ト巻尾畠木林の原	山林	丘陵 740	縄文中(櫛内)寄生中	
55	頭佐沢南	下室尾頭佐沢	山林、桑、牧草	尾根 710	縄文中、寄生中	
56	頭佐沢北	下室尾頭佐沢	桑、山林	" 730	縄文中	
57	横山	松向横山	桑、山林	斜面 810	縄文中	
58	杉の木平	松向杉の木平	桑、畑	" 810	(出石器) 縄文中、平安	
59	柳沢南	松向柳沢南	桑、山林	尾根 810	縄文中	⑩柳沢 S 47.
60	神田	松向神田	桑、牧草	" 840	縄文既、寄生中、平安	⑪神田とは別遺跡
61	小野	上室尾女取区小野	桑、畑	" 870	縄文中(井戸尻、食利)平安	
62	広面南	松向広面	桑、畑、山林	丘陵 710	縄文中(會利)平安	
63	広面北	松向広面	桑、畑	微高地 710	平安	
64	様八田	上室尾女取区様八田	桑、畑	尾根910	縄文中(會利)庵(木)寄生中	⑫様原樹料地 S 38. S 47.
65	上庄	尾根上庄	宅地、畑	斜面 890	縄文中(會利)半公	
66	天神森	尾根天神森	宅地、畑	斜面 900	縄文中(丹戸屋)寄生	
67	内上江	尾根西上庄	宅地、畑	尾根 920	縄文中	削平されて消滅か(?)

(註)

1. 備考の⑩は S 38. 47 年に行なわれた分水嶺塗台帳名である。

2. ⑪は所有者及び保管場所を示している。

3. ⑫は文献を表わしている。ただし、この他に北巨摩教育会「先史原史時代調査」昭和 7 年、仁科義男「甲斐の先史原史時代調査」昭和 10 年、山本秀々雄「甲斐石器時代遺物発見地名表」昭和 30 年等の文献がある。

4. 遺跡は全て踏査し、その表面採取資料から時代を明示したが、一部過去の台帳より引用している。

遺跡時期一覧表 1

No.	時代 遺跡名	旧 (先 土 石 器 器)	約1万年前				約2千年前				約千年前		
			繩文				弥生		土師時代				
			草	早	前	中	後	晚	中	後	古墳	奈良	平安
1	上前後沢				—	—							—
2	下前後沢				—	—							—
3	岩 薙				—	—							
4	上 宮 原				—	—							
5	竹 原				—	—							—
6	宗 高				—	—							
7	中 原				—	—							—
8	上 井 詰				—	—							
9	源 平				—	—							
10	大 神 宮				—	—							
11	下 久 保												—
12	加 室				—	—							
13	高 野				—	—							
14	殿 平				—	—							
15	前 薙				—	—							—
16	上八里田				—	—							
17	西 屋 敷				—	—							—
18	深 沢				—	—							
19	上深沢 A				—	—							
20	上深沢 B												
21	原 東 沢				—	—							
22	小瀬中学校付近				—	—							
23	上平井山				—	—							—
24	下半井出				—	—							
25	茶屋久保				—	—							
26	夏 秋				—	—							
27	中 深 沢				—	—							
28	加倉 B				—	—							
29	加倉 A				—	—							
30	田 頸				—	—							
31	耕地久保				—	—							
32	笛尾畠跨				—	—							
33	雪 車				—	—							
34	源 氏 龍				—	—							
35	長 尾 樹				—	—							—
36	滝 の 前				—	—							

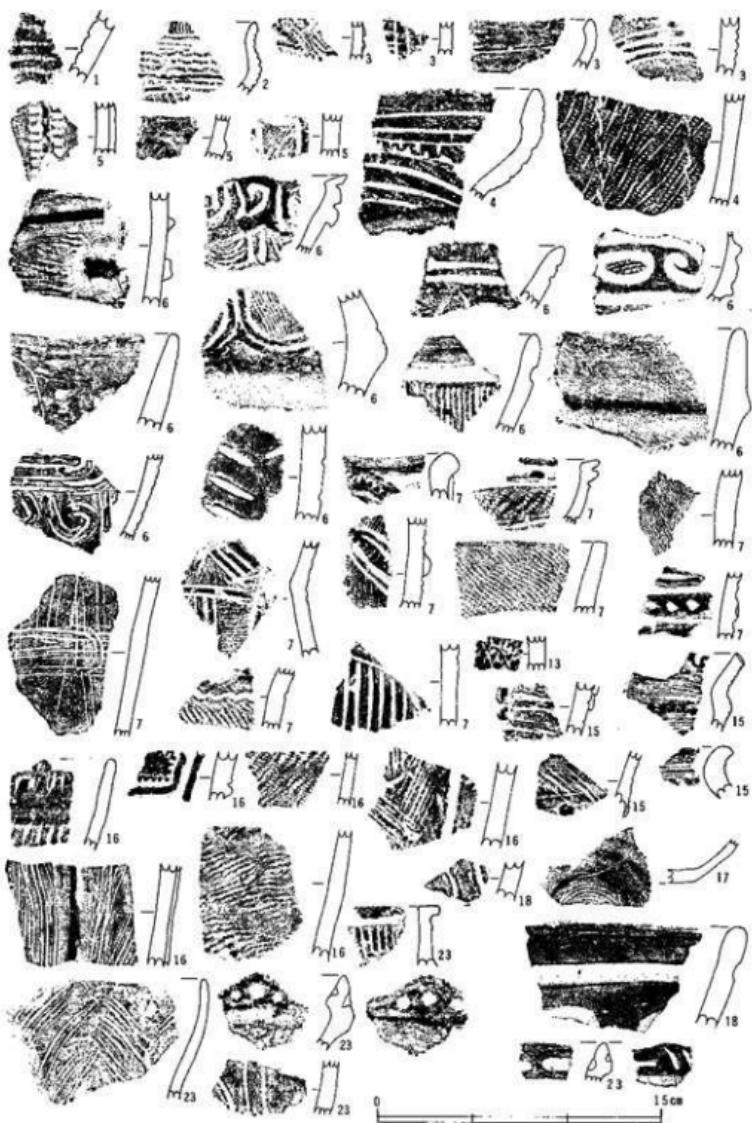
遺跡時期一覧表 2

No.	時代 遺跡名	旧石器 (先土器)	約1万年前					約2千年前			約千年前		
			繩文					弥生		土師時代			
			草	早	前	中	後	晚	中	後	古墳	奈良	平安
37	中林				----							-----	
38	御崎				----							-----	
39	東尾				----							-----	
40	寺田				----							-----	
41	江戸山				----							-----	
42	西堀込南												
43	西堀込北				----								
44	上駒場												
45	穴之沢				----								
46	西三歳主				----							-----	
47	柳沢北				----								
48	宝ヶ森				----				----				
49	本村											-----	
50	前田北				----								
51	深町				----							-----	
52	前田南				----							-----	
53	藏屋敷				----							-----	
54	向原				----							-----	
55	頭佐沢南				----								
56	頭佐沢北				----								
57	横山				----								
58	杉の木平	----			----							-----	
59	柳沢南				----								
60	神田											-----	
61	小野				----							-----	
62	広面南				----							-----	
63	広面北											-----	
64	猿八田				----								
65	上庄				----							-----	
66	天神森				----								
67	西上庄				----								
合計							60	17	1	0	26		

(註) 1. (20) 上深沢Bは鎌倉時代か、(32) 並尾里跡は中世で報告がある。

2. 時代を示す線は——(確実なもの)(不確実なもの)である。

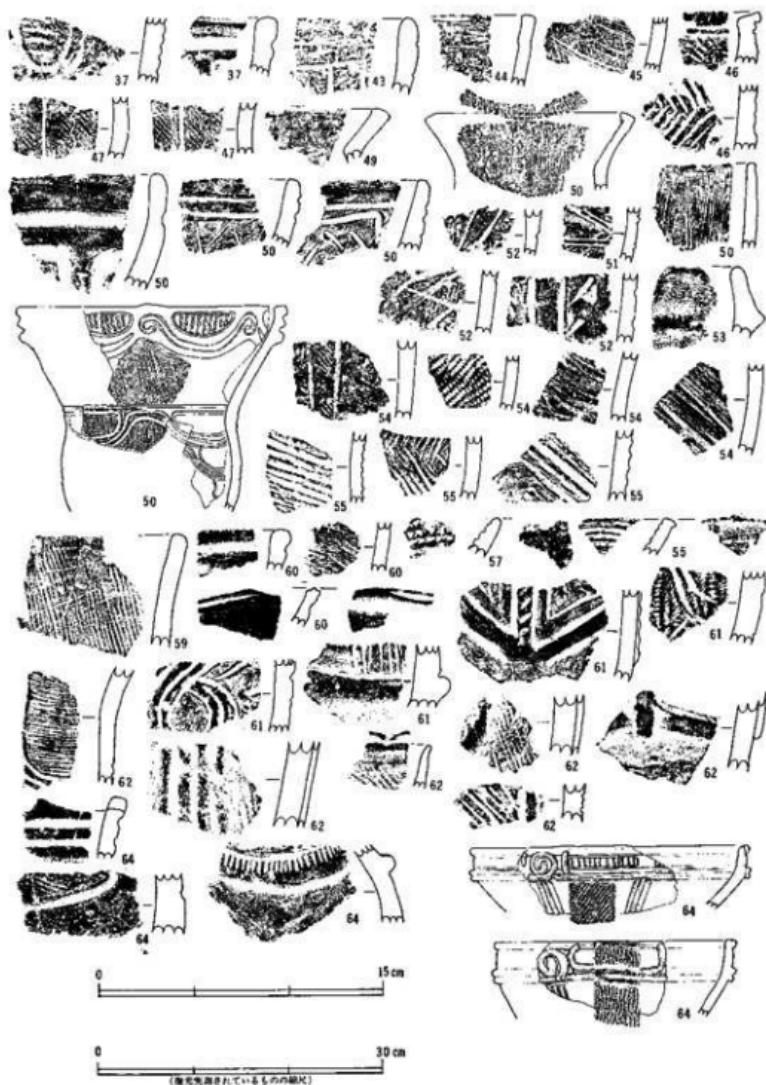
3. 古墳時代、奈良時代は今後発見される可能性がある。



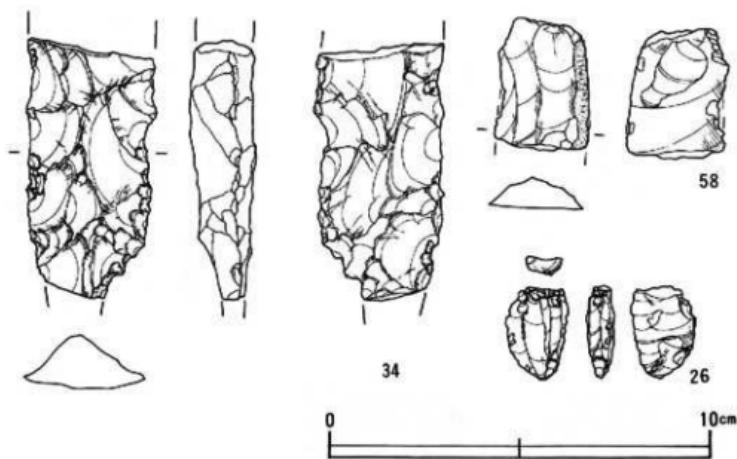
第2図



第 3 図



第 4 図



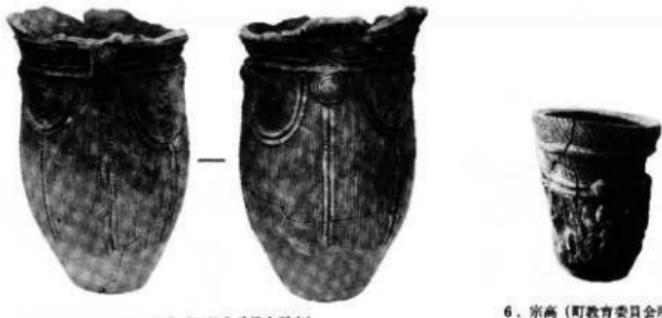
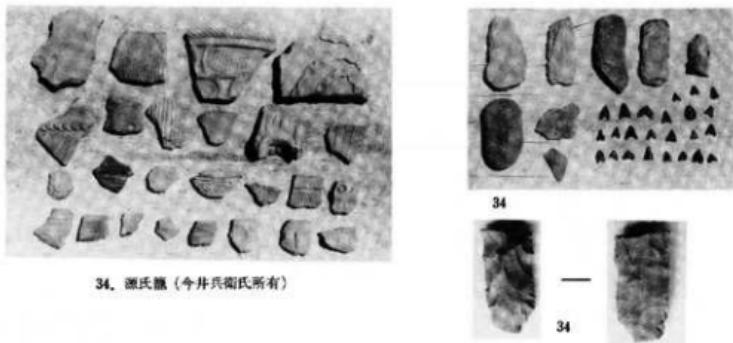
10. 天神宮（八ヶ岳山莊 小林潤三氏所有）



19. 上深沢A(?) (町教委所有)



22. 小淵沢中学校々庭(?) (小淵沢中学校所有)

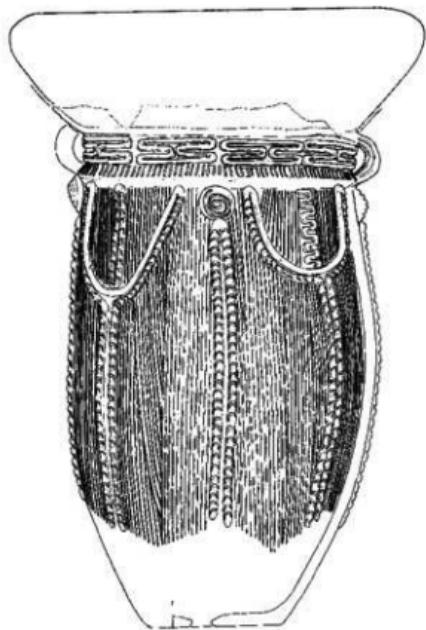


第 6 図

ま と め

これらの遺跡は私達の祖先が残した貴重な文化遺産ですから、当然その保護や保存をしなければなりません。文化財保護法では、遺跡として周知されている場所を工事する場合には町や県の教育委員会を通じて文化庁へ通知や届を提出するよう義務づけられています。又、農耕中に土器が多く発見されたら町へ届けて下さい。その資料が過去の歴史の重要な一頁を解く鍵になるかもしれません。

この調査が従来にも増して豊かになったのは、町教育委員会、町誌編纂室の各氏の協力と深いご理解の上に、各地元の方々が調査の主旨を尊び心よく畠の中の踏査を許していただいたおかげであります。未筆ではありますが記して深甚なる感謝を申し上げます。



岩窪遺跡出土（黄文中期後葉）(36)

1979年3月31日発行

発行 小淵沢町
小淵沢町教育委員会
編集 山梨考古学研究会
印刷 銀映南堂印刷所
TEL 0552 2528

